



ほっかいどう 生涯学習 Lifelong Learning

ホームページアドレス <http://www.hsgk.jp>

新しい自分との

出合いや発見がきっとある

年頭のご挨拶



(財) 北海道生涯学習協会

会長 宇田川 洋

新年あけましておめでとうございます。本年も昨年に増して、よろしくご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成二十一年度の当協会事業、「ほっかいどう学」実践講座やかである講座、生きがづくり生涯学習促進事業等、全道各市町村のご支援をいただき、順調に開催できておりますこと、心から感謝申し上げます。

また、北海道より委託を受けております「道民カレッジ」事業は、十一月末現在で、学生数三万三千五百人を超え、称号取得者が延べ七百九十二名となり、三千単位取得者が出現するなど、奨励賞（千単位取得者）授与者も延べ三十三名となり、順調に生涯学習の足跡が刻まれてきております。

さらに、ほっかいどう学検定で誕生した、「ほっかいどう学を学ぶ会」も歴史探訪バスツアーや研究発表会を開催するなど、学びの輪の広がりが実感できる一年でした。このように、自ら学び、新しい出合いを求めて生きがづくり、に励むことのできる生涯学習の機運が大きくなってきておりますことは、誠に喜ばしい限りです。

このことは、北海道教育委員会をはじめ関係機関・団体等のご支援、ご指導の賜と改めて厚くお礼申し上げます次第です。

さて、少子高齢化、情報化、国際化が進展し、社会の変動が急速に進み、政治経済をはじめ人々の生活が先行き不透明な時代を迎えております。このような時代であるからこそ、心豊かな生きがづくりや人と人との結びつきなど人材育成を図ることが求められております。

そこで、今年も本道の生涯学習の振興に大きな役割を担っている当協会の果たすべき任務を意識し、道民各位のニーズを的確に把握するなど、心豊かな生活の一助となるような生涯学習事業展開に努めてまいりたいと考えております。

今後とも、皆様方のご指導ご助言を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

目次

- 道民カレッジのお知らせ 2
- 私の生涯学習 4
- 「ほっかいどう学」検定について 3
- 「ほっかいどう学を学ぶ会」について 3
- 「道民カレッジ」と出会うの歩み
「道民カレッジと共に」 5
- まなびの広場展示のご紹介 6
- 視聴覚センターからのお知らせ

『学びから夢が生まれる』

道民カレッジのお知らせ



道民カレッジ事業について

◎道民カレッジ事業

について

《出前講座》

◇鹿部町(道南圏)

期日 二月十八日(木)

会場 鹿部中央公民館

テーマ 「温泉活用のまちづくり」

講師 札幌国際大学観光学部

教授 松田 忠徳氏

◇奈井江町(道央圏)

期日 二月予定

会場 奈井江町文化ホール

テーマ 「健康と教育と大学の

連携によるまちづくり」

講師 北海道医療大学他



◎生涯学習協会事業

について

《かでる講座》

◇第九回目講座

期日 一月十六日(土)

会場 かでる二・七

十三時半～

五二〇研修室

講師 医療法人 夕張希望の杜

理事長 村上 智彦氏

演題 「地域医療」

〈明日からできる予防医療〉

◇第十回目講座

期日 一月二十五日(月)

会場 かでる二・七

十三時半～

五二〇研修室

講師 東海大学

副学長 西村 弘行氏

演題 「機能的食品と予防医療」

〈食生活で美容と健康維持〉

生きがいがづくり生涯学習
促進事業について

今年度も全道十会場で

実施いたします。

十一月七日の陸別町をかわきりに十一月八日の夕張市、十一月二十日の木古内町、十一月二十三日の恵庭市、十一月二十五日の上川町で地元市町の協力の下に開催されました。

今後の日程は、一月十九日白糠町、一月二十四日蘭越町・苫前町、二月十八日は安平町、二月二十四日は訓子府町で開催いたします。



《恵庭会場》

この事業は、道民カレッジの連携講座に指定されていますので、皆様の参加をお待ちしております。

第二回「ほっかいどう学検定」
成功裏に終わる

去る十一月一日(日)全道七会場において、第二回となる「ほっかいどう学検定」が実施されました。今年度の「検定」は、昨年度の試験領域の「歴史・文化」に加え、新たに「自然環境」が加わりました。

最年少は、九歳。最高年齢は九十歳で、受検者総数は、九百九人でした。昨年度の受検者数には及ばないものの約千人近い申込みがあったことは道外者も含め生涯学習に対する関心の高さが伺われました。結果、八百四十三人の合格者が誕生しました。

○歴史・文化編

・入門受検者 百六十七人

合格者 百二十二人

合格率 七十三、一%

・上級受検者 百三十七人

合格者 百三十二人

合格率 九十六、四%

○自然環境編

・入門受検者 百三十三人

合格者 百二十三人

合格率 九十二、五%

・上級受検者 四百七十二人

合格者 四百六十六人

合格率 九十八、七%

なお、合格者を対象にした「合格者の集い」は次のように開催されます。

・歴史・文化「合格者の集い」

時：五月中旬 所：かでる二・七

・自然環境「合格者の集い」

時：三月十四日 所：かでる二・七

生涯学習の継続

「ほっかいどう学を学ぶ会」

幹事長 井上 和男

去る十一月十四日(土)、折からの氷雨という悪条件にもかかわらず約八十名の会員が出席し同会の「研究発表会」が札幌市内のホテルで開催されました。これは当会の今年度最後の大きなイベントであったが成功裏に終了することができました。

この発表会では、発表応募会員のの中から選出された三名が研究発表するとともに当会の顧問であるノンフィクション作家合田一道先生が「北国のおもしろ意外史」という演題で記念講演をされました。

研究発表は、北海道の歴史・文化に関するもので時代は問わず、研究していることや関心のあることを自由に発表してもらおうという趣旨で実施されました。初めてのイベントと言いうこともあり発表者の熱意と意欲が強く感じられ、これまでの研究成果を会員の前で披露する格好の場となりました。また、聴講した会員にも発表内容をメモする等真剣に取り組む姿が随所に見られました。

引き続き懇親会に移り、会員同士の懇親の実を上げるとともに「ほっ

かいどう学」に対する思いと今後の会の運営等について和気藹々の中にも真剣な意見交換が行われ来年五月の総会と二回目の研究発表会での再会を誓って散会しました。



〈研究発表会～熱のこもった発表～〉

実はこの「学ぶ会」は、まだ設立一年にも満たない若葉マークの若々しい会です。この会は、本年二月二十八日、第一回の「ほっかいどう学」検定合格者千三百四十三名の内約二百六十名が参加して開催された「合格者の集い」において発足したものでありその目的は「ほっかいどう学の学習研修を通して北海道をより深く理解するとともに会員及び相互の学習意欲を喚起すること」です。

そして、この目的達成のために、研究会・研修会の開催や会報の発行等の事業を実施しております。

現在、林芳男会長以下十四名の役員と三名の顧問の陣容で、会員数は約三百二十名です。

また、十月には二日間にわたり、函館・江差等道南方面を舞台に今年度の大きな事業である「歴史探訪バスツアー」を実施しました。これは言うまでもなく箱館戦争の歴史を学ぶツアーです。参加者は四十八名。旅行中、顧問の合田先生には、この戦争に関するスポットを巡りながらの解説だけではなく宿泊場所の「森少年自然の家」における夕食後の研修でも分かりやすい解説をいただきました。このお陰で参加者は一層の理解を深めることができました。

当会は前述の通り、まだ一歳にも満たない若い会です。構成する会員も年齢、性別等様々です。共通するのはただ一つ、それは「私達を生み育んだ郷土北海道に感謝しながら、その歴史・文化をより深く理解し、北海道のより良い未来を造るための一助とならんこと」です。

過日、第二回目の検定が実施されましたが、合格者の中から沢山の皆様が本会の趣旨に賛同し、仲間に加わることを大いに期待しているところ



〈合田先生の説明を熱心に聞く参加者〉

来年の五月には、満一歳に成長し更に大きくなった「学ぶ会」の総会が開催されます。会場いっぱい詰めた新旧会員とともに「ほっかいどう学」を学ぶ様子を想像しながら期待に胸を膨らみます。昨今です。



私の生涯学習

「道民カレッジ」と出会った歩み

北見市 三浦 清富

道民カレッジは平成十四年に開設されたのですが、私が入学したのは平成十七年の十月でした。今年で満四年目を迎えました。入学するまでは道民カレッジの存在すら全く知りませんでした。ある日講演会があったので、素晴らしいカレッジがあるよと紹介されたのがきっかけで受講を開始しました。

早速入学手続きをして受講生証が届いた時は学生気分になり、人生に夢が膨らみ希望を持って頑張れるなあと思ったのが昨日のように思われます。今はどこにいても学ぶ意欲さえ持ち続ければ生涯充実した人生が送られることを実感しています。

当時、北見市の出前講座の講師をされていた早坂惇司氏の呼びかけもあって入学した年の十二月に数人集まって「北見受講者の会」を設立しました。仲間との学習会は道民カレッジ連携講座一覧のガイドブックの発行に合わせて年二回、前期（四月）後期（十月）をめどに実施し、現在

も続いています。スタートした頃は総てが途惑い、何の講座があるのかを知って受講するだけで手がいつぱいの状態でした。何もかも初めての経験でしたので、講師早坂氏から受講のシステムや学習方法、単位の取り方、レポートの書き方等を学び、大変参考になりました。

学習も回数を重ねていくうちに不安だったことや悩み等を共有し合い前向きに仲間づくりもできたようです。年に二回の学習会は市の出前講座を利用しましたので会場も公の場で無料でした。その都度、学習法や称号取得者からの参考意見やアドバ

イスをいただいて学習の参考にしました。今までの取り組みの中では学習会を実施する時は「道民カレッジの集い」という題目で道新やタウン紙に載せていただいて道民カレッジの存在や魅力をアピールして一人でも仲間が増えることを期待して取り組みました。北見市内にも沢山の人がいるようですが、個人情報もあって呼びかけも限られてきます。北見は大都市と異なり道民カレッジとの連携講座は少ないのですが、ガイドブックやインターネット等の情報を交換しながら周辺の市町村や旭川・札幌へと出かけて受講している

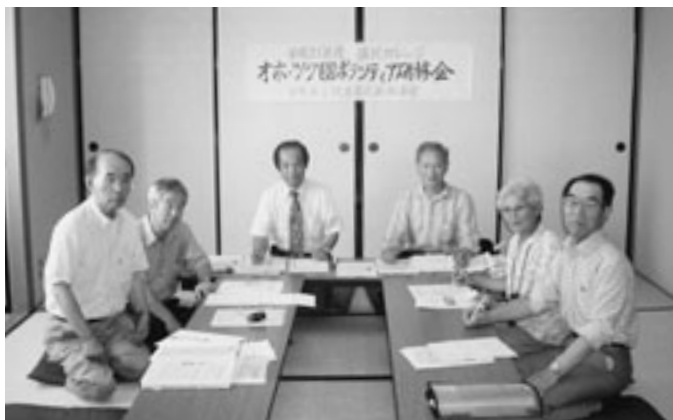
方もおります。

私たちの会は無理をせず、楽しく学び人生を豊かにすることをモットーにしています。会員の仲間はどの方も意欲旺盛で称号取得者が出てきました。互いに賞賛し合い、励まし合いながら教養を高め豊かにすることは楽しく嬉しいことです。北見受講者の会もただ受講するだけの姿から、オホーツク圏のボランティアとして協力できるまでに育つことができました。これも手取り足取り根気強くご指導下さった多くの方々のお陰と感謝しています。

私たちは地方にいながら本部から課長、主幹、ボランティアの方々に来ていただいて沢山の情報と知識を得ることができました。北見を会場に実施された行事には、会員が分担して受付、会計、会場設営、講師対応、単位手帳記入、全体進行までボランティアとして全面協力体制ができるようになりました。また、受講したり、ボランティアとして手伝うだけでなく各行事の終了後には講師を交えて一緒に反省会兼懇親交流会を開いて情報を広め、親睦を深めました。

現在は、まだ受講と単位取得が主になっていますが、ひとり一人が力

をつけた段階には道民カレッジで培われた知識を生かして、自前講座を開き地域づくりに尽くしたいという夢を持っています。



＜オホーツク圏ボランティア研修会＞



「道民カレッジと共に」

旭川市 今野 義信

定年過ぎたら「心豊かな日々を過ごす」ことを自分に課して、永年思っていた「古典文学」を再び学びたいという願いがあった。友人からもらった「道民カレッジガイド」の連続講座の中に、旭川教育大学の「古典文学講座」が見つかり「道民カレッジ」との私の歩みが、平成十七年春から始まりました。

それ以来他の学習してみたい課題も毎回有り、合わせて週三日名橋旭橋を渡り、夏は自転車、冬は徒歩で体力維持も兼ねて片道約八キロの道を学ぶことの楽しさと共に通っております。

「道民カレッジ」のことは仲間の方々に詳しく説明をいただき、以来四ヶ年余自分の身の丈に合うものを選んで受講してきました。その中で同じような心を持つ仲間も増え「ほっかいどう学検定」などボランティア活動もお手伝いさせていただいており、また、昨年の「歴史・文化編」今年の「自然環境編」各上級を合格することも出来ました。点取り虫ではありませんが、知らぬうちにカレッジ単位が増え、「教養コース」と

「ほっかいどう学コース」で博士号単位取得までたどり着きました。

私にとって「道民カレッジ」は「日々楽しさを学ぶ」ことであり、カレッジ活動を通して良き人間関係の輪が広がることでもあります。

さあ、明日からも「学ぶことの楽しみ知ることの喜びに一步前への径」を行きたいと思えます。

「生徒らの 上り下りし旭橋

今日も行くらむ 生涯学習」



<ほっかいどう学実践講座>



office network service
サンコーネットワークサービス

取扱品目

- ◎各種事務用品の販売、レンタル
- ◎コピー機、ファクシス、パソコン類
- ◎システム構築商品の販売
- ◎ファクス装置、写真、印刷ソフト、ネットワーク・PC周辺（通販）
- ◎プロバイダー事業
- ◎レインボウインターネット
- ◎マルチメディア関連機器のレンタル
- ◎ネットワーク・システム構築商品（ハードウェア）販売
- ◎各種印刷物の印刷、複製、転写等
- ◎各種事務用品の修理・保守
- ◎各種機器の保守、修理、点検等
- ◎各種事務用品のリース
- ◎各種事務用品のレンタル
- ◎各種事務用品のリース

その他、オフィス、業務の効率化よりよくするための各種

和約 快速 創造的オフィス創りで貢献する

サンコー事務機株式会社

〒060-0013 札幌市中央区北13条西18丁目3番90
電話 011-614-2255 FAX 011-614-5245
homepage: <http://www.sancoh.jp/>
e-mail: info@sancoh.jp

お気軽にご相談ください。



地域に根ざし、福祉とビジネスの両輪を力強く

リハビリグリーンズ
グループウェア・システム・ネットワーク

TEL (011) 375-2112 (代) FAX (011) 375-4002

リハビリーエイト
印刷（オフセット印刷・デジタル印刷）
オンデマンド印刷・大判インクジェットプリンタ出力
インクジェット複写機・複写機（販売）

TEL (011) 375-2116 (代) FAX (011) 375-2115

セルブさっぼろ
貸 屋（印刷・事務用品・作業機・作業機・ユニフォーム等）
スクリーン印刷（各種デザイン・ネットプリント等）
軽作業（アイロンかけ作業等）クリーニング
TEL (011) 852-2111 FAX (011) 852-2113
ユルユルササキ会館
TEL (011) 561-3359 FAX (011) 561-2673

リハビリーおおそら
クリーニング（業務用・家庭用）
TEL (011) 375-2112 (代) FAX (011) 375-4002

ポポルス
福祉活動支援センター
精神的活動・健康活動・経営サービス等
TEL (011) 852-2111 FAX (011) 852-2200

札幌ワークセンター
貸 屋（印刷・事務用品・作業機・ユニフォーム等）
軽作業（アイロンかけ作業等）
TEL (011) 852-2111 FAX (011) 852-2113

社会福祉 北海道リハビリー

〒061-1195 北海道北広島市西の里507番地1
TEL (011) 375-2111 (代) FAX (011) 375-4051 www.seho.net
理事長 奥野 一之 常務理事 平沼 栄二



since 1896

山藤三陽印刷株式会社

sandosanyo 〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条4丁目16-1

[営業部] 代表電話 (011) 661-7163 FAX. (011) 661-7173
東京支店 / 電話 (03) 3518-4631 FAX. (03) 3518-4633
苫小牧営業所 / 電話 (0144) 34-8078 FAX. (0144) 31-2423
千歳営業所 / 電話 (0123) 26-3555

「まなびの広場」展示のご紹介

○一月展示

・団体名

U L Aビーズ織り工房・ときめき織

・内容

ビーズ織のオリジナル作品展示
アクセサリー、小物、バッグ等

・展示期間

一月四日(月) ～ 二十八日(木)

○二月展示

・団体名

国立大雪青少年交流の家

・内容

国立大雪青少年交流の家紹介パネル展

・展示期間

二月一日(月) ～ 二十六日(金)

○三月展示

・団体名

さつぽろ花の会

・内容

花の写真展

・展示期間

三月一日(月) ～ 三十一日(水)

展示希望団体の募集について

道民カレッジでは、平成二十二年度の展示希望団体を募集します。

展示を希望する団体は、左記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

○募集期間

平成二十二年一月中旬～

平成二十二年二月中旬

○お問い合わせ

北海道生涯学習協会学習振興課

道民カレッジ事務局

電話 〇一一―二〇四―五八七〇



視聴覚センターからのお知らせ

視聴覚センターでは、約五千タイトルの視聴覚教材(ビデオ、DVD、十六mmフィルム)を収蔵し、全道の皆様へ無料でお貸ししています。学校や社会教育関係団体はもとより、企業、各種団体等でお役に立てる教材を用意していますので、気軽にお問い合わせください。

今後購入予定の教材から一部をご紹介します。

- ◆ こうして乗り切る！クレーム電話 (DVD)
- ◆ 宮沢賢治・原作アニメシリーズ五巻 (DVD)
- ◆ おくりびと (DVD)
- ◆ 宮崎駿の仕事 (DVD)
- ◆ 次郎長三国志 (DVD)
- ◆ スプリンおばさん (DVD)
- ◆ 二〇代・三〇代のための面接シミュレーション (VHS)
- ◆ 四〇代・五〇代のための面接シミュレーション (VHS)
- ◆ キャリアカウンセリング入門 (DVD)
- ◆ 未来を変えるあなたの選択 (DVD)
- ◆ 列車紀行(北海道) (DVD)

※U R U WEBで申し込み

視聴覚センターの教材は、WEBから借用の申し込みをし、宅配便で受け取ることができます。

詳しくは左のアドレスにアクセスを！
<http://manabi.pref.hokkaido.jp/>

お問い合わせ.....

電話 〇一一―二三一―四一一一 (三六―三四五)

FAX 〇一一―二八一―六六六一 (三六―三四五)

編集後記

あけましておめでとうございます。

今年の冬は、今のところ雪が少なく大助かりですが、スキーのメッカの道内のスキー場は大変だとか。しかし、この会報が届く頃は例年どおりの積雪になっているかも。

○今年一年の特徴的な出来事と言えば「新型インフルエンザの流行」を取り上げざるを得ません。

これは、二〇〇九年三月にメキシコを基点に世界的に流行をきたしたインフルエンザです。

年明け早々、各種入学試験が始まりますが、受験生にとっては試験勉強もさることながらインフルエンザの対策にも取り組まなければならないので大変なことです。

○さて、明日を担う若者の生涯学習に対する意識はさほど高くないと推察していましたが、今年度の「ほっかいどう学検定」においても昨年同様百人を超える青少年の受験がありました。

当生涯学習協会は現在、道民の皆様への深いご理解と温かいご支援により学習機会の提供を中心に円滑に事業を推進しております。これからも、道民の皆様の自発的な学習活動を支援し、生涯学習社会の実現に寄与してまいります。